

平成29年度 保健福祉部 健康づくり担当部長の目標宣言 達成状況報告

保健福祉部 健康づくり担当部長 井上 稔

NO.	取組名 (担当課名)	取組内容	達成目標	取組結果 今後の取組の方向性	目標達成状況
1	市民健康増進事業の推進 (健康づくり課)	・市民一人ひとりが自主的に健康の維持、増進を図るため、スポーツをはじめとする各分野や大学、医療機関等と連携し、保健・医療等の各事業を通じ、市民の健康づくりを推進します。	・健康相談等参加者数 6,250人 ・栄養相談等参加者数 3,350人 ・健康バス参加者数 550人	市民の健康維持・増進を図るため、関係機関と連携し、健康づくりの取組を推進しました。 東海大学医学部との協働事業として開催した「健康バス」等、多くの方に参加いただきました。 [今後の取組の方向性] 健康寿命の延伸に向け、市民の自主的な健康づくりを支援するため、引き続き、関係機関と連携し、健康意識の啓発や生活習慣の改善、生涯スポーツや健診などの予防事業を推進します。	・健康相談等参加者数 7,114人 ・栄養相談等参加者数 3,383人 ・健康バス参加者数 672人
2	体力づくり推進事業の推進 (スポーツ課)	・東海大学との包括提携業務である「東海大学市民健康スポーツ大学」や、総合型地域スポーツクラブの運営支援を行い、運動の機会を提供し交流の場を設けます。 また、住民総参加型スポーツイベント「チャレンジデー」に参加、クルリン健康ポイント事業等の実施により、市民の健康づくり、運動・スポーツの習慣化を推進します。	・東海大学健康クラブの健康促進プログラムの提供を受ける市民の数 120人 ・伊勢原ふれすぽクラブ参加者人数 2,200人 ・チャレンジデー 住民参加率 60% ・クルリン健康ポイント事業 参加者数 310人	多くの市民に運動する機会を提供し、運動・スポーツへの興味や関心、健康づくりに対する意識の向上及び運動習慣の定着化を図りました。 [今後の取組の方向性] 2つの運動クラブの運営支援及び地域における継続的な運動・スポーツの取組を推進するとともに、します。チャレンジデーなどを通じて運動習慣の定着化を図っていきます。	・東海大学健康クラブの健康促進プログラムの提供を受ける市民の数 57人 ・伊勢原ふれすぽ参加者人数 3,245人 ・チャレンジデー 住民参加率 75.8% ・クルリン健康ポイント事業 参加者数 301人
3	医療保険制度改革への着実な対応 (保険年金課)	・県と市町村による国民健康保険事業の共同運営化に伴う国民健康保険事業費納付金及び標準税率等を踏まえ、保険税率等の見直しを含め、医療保険制度改革への着実な対応を行います。	・新国民健康保険制度への着実な対応 ・保険税率等の見直し	・平成30年4月からの新国民健康保険制度の円滑な実施、運営に向けた条例改正、予算編成等を行いました。 主なものとして、 ・新国民健康保険制度に係る被保険者資格管理等を行うシステム改修 ・保険税資産割額の廃止、保険税率の見直し等のため、国保運営協議会を5回開催 ・保険税率の見直し等の条例改正(4件)を行いました。 [今後の取組の方向性] 県内統一の事務処理を進めるとともに、概ね3年ごとに税率見直しを行うなど、引き続き国保財政の安定化に努めていきます。	新国民健康保険制度及び保険税率等の見直しに的確に対応いたしました。